

# 令和5年度 小桜こども園 園評価結果

## 1 教育目標

- ・まことに生きる子
- ・思いやりのある子
- ・お話をよく聞く子
- ・みんなと仲良くする子

## 2 本年度の重点目標と園評価の記録

- 重点目標
  - ・表現する楽しさや喜びが実現できるよう丁寧な職員連携と環境づくり
  - ・共通課題に向き合う職員の協力体制づくり
  - ・子育て支援（相談）への取り組みや参加しやすい行事活動の見直しと充実
- 園評価
  - ・園評価についての共通理解（4月）
  - ・職員評価（12月）
  - ・保護者へのアンケート（2月）
  - ・統括的な自己評価（3月）

## 3 評価項目の達成状況

### （1）本年度の保育目標の実現目標（保護者アンケートの結果を踏まえた評価）

保護者の約90%が、3つの保育目標を、概ね達成していると評価している。また、保育内容も保育士の約80%が達成していると評価している。これらの結果を踏まえ、全職員で一年間を振り返り、保育目標は概ね達成できたと捉えることができる。

評価項目	結果	理由
（1）表現する楽しさや喜びが実現できるよう丁寧な職員連携と環境づくり	3.5	子どもたちが「これをして」と自ら遊び表現したくなるような環境づくりは、3.5の評価となりました。他職員との連携を基本軸に考え、話し合いを進めていきました。結果としてお互いの思いが確認でき、楽しさや喜びがはっきりと表れ、園児に寄り添った成果となりました。今後も丁寧に職員の連携を大切にしながら、積み重ねていきたいと思えます。
（2）共通課題に向き合う職員の協力体制づくり	3.5	園の中で話し合える時間をきめたことにより、共通課題に向き合う体制が構築されました。その結果として、確認不足による認識のズレや準備不足等が改善され、成果として就労への意欲も明確に向上していきました。
（3）子育て支援（相談）への取り組みや参加しやすい行事活動の見直しと充実	4.0	子育て支援を要するご家庭への個別相談等のお知らせを丁寧に行うことにより、気軽に相談できる雰囲気園内に出てきました。そのことにおいて、一人で問題を抱え込むというような事案はすくなくなりました。

4段階評価 【4】十分達成した 【3】概ね達成した 【2】半分以上達成 【1】不十分

## 4 統括的な園評価結果について

- ① 各評価項目の取組結果は比較的高く、各職員は重点目標を意識し、課題を共有する姿勢が見られるようになった。また、その取組に応じた成果が見られた項目が多かったことは、本年度の大きな成果と評価できる。
  - ② 表現する喜びや感性の育成への積極的な取組が評価されたと捉えた。しかし、園内外の環境整備については、成果結果が取組結果に比べて低く、教材の提示に積極的に取り組んだが、提示した教材を子どもたちが活用したり自分たちで保育室を整えようとする姿にはつながらなかったことから、教材の適切さの検討や指導の展開について工夫する必要があることが分かった。
  - ③ 職員の協力体制作りについては、話し合いの機会を多く持つことができ、園務に関するマニュアルが必要なことが分かった。また、園内研究を多く設定できなかつたが、保育者同士で課題を共有し教え合う姿が見られるようになったことは、大きな成果といえる。
- <課題・主な改善策>
- 1) 環境整備・教材開発の充実
    - ・遊びの中に生かせる製作の教材開発と、一人一人の自分らしさを認め生かしていく援助を工夫する具体的な方策等を次年度の園内研修の課題にし、保育の充実だけでなく、保育者の資質向上につなげていきたい。
  - 2) 子育て支援に関する広報の工夫
    - ・ホームページでも吹き出しやイラストなどで変化をつけ、更新していることを分かりやすくする。在園児の活動写真等を、園内アプリを使用し保護者に丁寧に届けていく。